

# 町自連まつえ

平成23年1月1日 発行 第14号

■発行／松江市町内会・自治会連合会（略称：町自連まつえ）

ごあいさつ

松江市町内会・自治会連合会

会長 原 英昭



あけましておめでとうございます。

皆様お揃いでよいお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

併せまして本年のご健勝とご多幸、そしてご活躍と一層のご発展をお祈りいたします。

昨年も皆様のご支援を頂き松江市町内会・自治会連合会は地域的諸課題に對し議論検討を行い所定の実効を納めることが出来ました。厚く御礼を申し上げます。

さて、私は昨年、正月二日「松江城を国宝にする市民の会」の皆様と「松江城国宝望」に向かっての松江城での署名運動で活動の幕を開けました。お城を訪れた多くの観光客の皆様からご協力と力強い励ましをいただきました。そして春に展開しました町内会。

げます。



松浦正敬

新春を迎え、市民の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

自治会の皆様を中心とした署名活動には九万一千名の署名を頂き大いに勇気付けられました。私は松江市の町内会・自治会の皆様の底力を思いました。郷土を思う、あるいは松江市を思う皆様の暖かい力強さを感じました。皆様の明るく住みよいまちづくりへの情熱を

見てきました。

本年は松江開府四〇〇年祭五年間の仕上げの年となります。これに関しても松江歴史館のオープンや博覧会の開催があります。

そしてまた松江市と東出雲町が八月に合併をいたします。地区連合会がひとつ増え二十九となります。

新しいごみ処理の施設が稼動いたします。次世代の負荷軽減を見据えた素晴らしい施設です。

六月には「住宅用火災警報器」設置の義務化が施行になります。松江市では「設置済みシール」を作り普及啓発

見ました。

このシールを貼ることによりご近所がお互いに安心感を持つことにつながるものと期待しているところです。

本年も安全安心と明るく活力のあるまちづくりのため松江市町内会・自治会連合会は市内八百三の単位自治会の皆様、二十八の地区連合会、そして市内各公民館、松江市ご当局の皆様、関係諸団体の皆様と協働して活動を進めたいと存知ますのでよろしくご理解、ご協力、そしてご指導のほどお願い申し上げ年頭のご挨拶といたします。



## 松江市長挨拶

新春を迎えるにあたり、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

松江を全国に発信する「松江歴史館」がオープンいたします。改めて市民の皆様に松江の素晴らしさを誇りに思つていただくとともに、是非とも国内外からたくさんの観光客の方に松江を訪れていただき、活力あるまちづくりに繋げていきたいと思います。

また、八月には東出雲町との合併についていたくとも、是非とも国内外に松江を発信する「松江歴史館」がオープンいたします。

さて、いよいよ本年は開府四〇〇年祭のフィナーレです。三月には本市の貴重な歴史資料を後世に伝え、城下町

を図っておりますが、私たち玄関にこのシールを貼ることによりご近所がお互いに安心感を持つことにつながるものと期待しているところです。

ことで、目に見える市政を実現し、市政に対する信頼を築いてまいりたいと考えていきます。

最後になりましたが、まちづくりの主役は、まちに暮らす市民の皆様ご自身です。元気と夢のあふれる、誇りの持てる松江市へと発展させていくために、今後ともより一層のご支援とご協力をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



副会長  
小山 榮  
(川津地区)



副会長  
小草 通男  
(持田地区)



会長 原 英昭  
(法吉地区)



今年も様々な課題に

取り組んでまいりますので  
よろしくお願ひいたします。



常任理事  
田中美知夫  
(秋鹿地区)



常任理事  
米田 喜雄  
(大庭地区)



常任理事  
石倉 初  
(八雲地区)



常任理事  
石原 正  
(白瀬地区)



常任理事  
恩田 祥雄  
(忌部地区)



副会長 佐々木武男  
(雜賀地区)



副会長 井上 穢  
(鹿島地区)



理事  
熊谷 和恭  
(古志原地区)



理事  
山野 健  
(大野地区)



理事 門脇 延雄  
(八束地区)



理事 中島 勇夫  
(本庄地区)



理事 大野 美雄  
(城北地区)



監事 三島 健治  
(城西地区)



監事 田尻 賢爾  
(古江地区)



理事 福田 安信  
(生馬地区)



理事 佐々木省二  
(城東地区)



理事 福島 利光  
(乃木地区)



理事 古藤 政宣  
(朝酌地区)



理事 糸川 孝雄  
(宍道地区)



理事 後藤 眺一  
(竹矢地区)



理事 石倉 國男  
(津田地区)



理事 寺本 修己  
(美保関地区)  
理事 伊藤 利治  
(玉湯地区)



理事 川岡 孝二  
(島根地区)  
理事 松本 光弘  
(朝日地区)

## 活動紹介

### 地域で安全・安心の まちづくりフェア

～市民と行政が協働で  
明るいまちづくり～

十一月六日(土)、七日(日)の両日、

松江市環境センターにおいて、松江市  
(市民生活相談課、環境保全課、消防  
本部)、松江地区防犯協会、松江市公  
民館長会との共催により「地域で安全  
安心のまちづくりフェア」を開催しま  
した。

このフェアは、松江市町内会・自治  
会連合会が単位の町内会・自治会と連  
携して取り組んでいる安全・安心のま  
ちづくりの一つとして開催したもの  
で、環境にやさしく寿命の長い「LED  
防犯灯」の普及と、本年六月から取  
り付けが義務化され、住宅火災から住



安全安心まちづくりフェア

民の命を守る「住宅用火災警報器」の  
普及を目的としたものです。

両日で一七一名の方が来場されました。  
参加対象を市内の単位町内会・自  
治会の会長等としていましたが、NH  
Kテレビで紹介されたこともあり、一  
般市民の方も来場されました。「LE

この活動は、松江市町内会・自治会  
連合会が主催し、松江市が共催という  
「市民と行政の協働」による取り組み  
であることに意義があると言えるので  
はないでしょうか。

来場いただいた皆様に感謝いたし  
ます。

#### 防犯灯対策検討プロジェクトメンバー

山野 健・原 英昭・小草通男  
恩田祥雄・門脇延雄・石倉國男

## 視察研修

### ～土佐の山中 馬路村 (うまじむら) 見学記～

「今日も子供を畑につれていく。朝  
も早いき、ねむたそうな顔をする。け  
んど、ちゃんと畑にはついてくる。  
ちょっとずつ新しいことをやらす。新  
しいことには興味があつて、ちゃんと

やるけどヘタとりらあ、やらせて  
十分であきて遊びだす。畑の虫を探  
したり、となりの子と走り回ったり、最  
近はゲームもあるきね。遊ぶのはしゃ  
がない。子供やき。けどそれでも畑  
には、つれてくるがよ。かつこえい背  
中やないかもしけんけど親の背中を見  
せちょかないかん。ゆづの収穫を見せ  
がはおまんながぞ。」

これは、「あととり」と題する文  
全文である。新聞全開き大のポスター  
には柚子を収穫する村人、ちゃんとばら  
に興する子供、そして柚子を両手でも  
ぎとる子供の姿が大きく描かれる。裏  
面は、馬路村農協が生産・販売する  
柚子加工品の商品カタログで注文案  
内が示される。年間売上約三十二億  
円という。人口一〇七七人、森林率  
九六%、二つもあった営林署が廃止さ  
れ、国道・鉄道・信号・高校・コンビ  
ニもない小さな山村は、周囲との合併  
もせず「赤ちゃんの元気な泣き声のす  
る・子ども達が元気に遊び楽しく通学  
できる・住民が生き生きと働く姿のあ  
る・お年寄りの笑い声の絶えない」自  
立の村づくりに励む。そんな馬路村へ  
我々町自連二十六名がまちづくりのヒ  
ントを得るために、視察に出かけた。

総務課長さんの説明を聞き、役場を  
後に農協へ向かう道で、中学生達の「こ

D防犯灯」の展示では、二酸化炭素排  
出量の削減、電気料金の削減、維持管  
理費の削減などの長所があることを  
知っていただけだと思います。また「住  
宅用火災警報器」の展示では、住宅火  
災の早期発見に効果があり、設置が義  
務化されたことを知っていただけだと  
思います。説明を聞かれた方から、地  
域の防犯対策の実情や「松江市明るい  
街づくり推進事業」に対する意見や具  
体の提言をいただきました。

この活動は、松江市町内会・自治会  
連合会が主催し、松江市が共催とい  
う「市民と行政の協働」による取り組み  
であることに意義があると言えるので  
はないでしょうか。

これは、「あととり」と題する文  
全文である。新聞全開き大のポスター  
には柚子を収穫する村人、ちゃんとばら  
に興する子供、そして柚子を両手でも  
ぎとる子供の姿が大きく描かれる。裏  
面は、馬路村農協が生産・販売する  
柚子加工品の商品カタログで注文案  
内が示される。年間売上約三十二億  
円という。人口一〇七七人、森林率  
九六%、二つもあった営林署が廃止さ  
れ、国道・鉄道・信号・高校・コンビ  
ニもない小さな山村は、周囲との合併  
もせず「赤ちゃんの元気な泣き声のす  
る・子ども達が元気に遊び楽しく通学  
できる・住民が生き生きと働く姿のあ  
る・お年寄りの笑い声の絶えない」自  
立の村づくりに励む。そんな馬路村へ  
我々町自連二十六名がまちづくりのヒ  
ントを得るために、視察に出かけた。

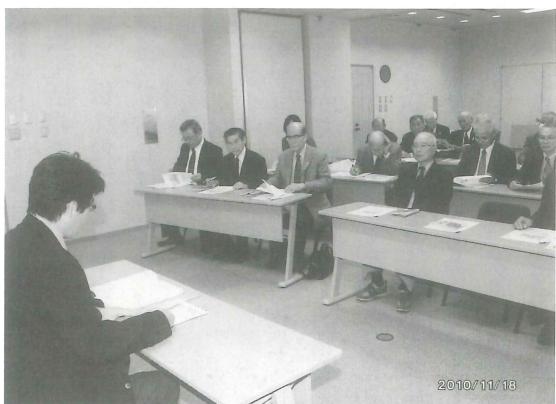
馬路村を代表する顔のひとつになつた馬路村である。馬路村を手がけて五十年、今までには高知県を栽培を手がけて五十年、今までには高

い道を登る不安は消えていた。商品を売るだけではなく馬路村のブランド化を目指す取り組みに感動したからであろう。

「人間形で動かされたら大丈夫だ。往路に感じた谷あいの狭い道を登る不安は消えていた。商品を売るだけではなく馬路村のブランド化を目指す取り組みに感動したからであろう。

（視察研修検討プロジェクトメンバー）

佐々木武男・田尻賢爾・小山 榮  
井上 穂・熊谷和恭・糸川孝雄



視察研修 馬路村役場

2010/11/13

帰路、バスの中は満ち足りた雰囲気だった。往路に感じた谷あいの狭い道を登る不安は消えていた。商品を売るだけではなく馬路村のブランド化を目指す取り組みに感動したからであろう。

氏という力強いリーダーの存在がありました。「人は命令形で動かされたら大丈夫だ。往路に感じた谷あいの狭い道を登る不安は消えていた。商品を売るだけではなく馬路村のブランド化を目指す取り組みに感動したからであろう。

それで終わりです。人は感動を与えたば、必ず感謝で動きます。これを誰がやるかです」という熱い思いは、それぞれの立場で地域のリーダーとして活動している我々へのエールとなりました。

### 三団体合同研修会について

各地区におけるまちづくり、健康福祉、生涯学習などを一層充実発展させ、地域力を高め、豊かな地域づくりに資することを目的として実施している地区社会福祉協議会会长会、公民館長会、町内会・自治会連合会の三団体

の合同研修会も今年度で三回目となりました。

今年度は、鹿児島県鹿屋市の柳谷町内会長である豊重哲郎氏を講師に迎え、地域再生についての講演をしていました。柳谷町内会は『行政に

頼らない地域づくり』を掲げ、平成九年から住民総参加で独自の活動をスタート。集落の住民が労力や経験を提供し合い、土着菌を使つた土作りやオリジナル焼酎づくりなどを行い、独自

の活動資金を確保。その資金をもとに町内すべての世帯にボーナスを支給したり、福祉や教育も充実させていきました。



豊重哲郎氏の講演

研修後半では、市の担当課より松江市における健康づくりの推進について、実態と方針について説明があり、がん検診受診率向上、元気な高齢者がづくりのため、地域が一丸となつて取り組んでいく必要性を改めて認識しました。

松江市が元気で活気あふれるまちになるために、我々が何をすべきか。そ

うした中、私達町内会・自治会連合会は「自治会への加入促進、環境にやさしいまち・災害に強いまち」を目指して、誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らせるまちづくりを図るための活動を続けています。

そのため、今年も各地域の皆様方と連携をとりながら地域発展のため努力しますので、皆様の暖かいご支援とご協力をお願いいたします。

### 〈事業担当者〉

小山 榮・恩田祥雄・石原 正

### 〈編集後記〉

誰もがお正月を迎えると、今年こそ、と心に誓いを立てたり、家内安全・無病息災・一家の幸せや発展を願うものです。

しかしながら、昨今の急速な円高・景気低迷の長期化、深刻な雇用状況等私達を取り巻く環境は年々厳しくなつてきております。加えて少子高齢化・核家族化・ライフスタイル等の変化により、人間関係は希薄化し地域のつながりや連帯感は弱まり、地域の社会的共同生活の維持すら難しくなつております。

そのため、今年も各地域の皆様方と連携をとりながら地域発展のため努力しますので、皆様の暖かいご支援とご協力をお願いいたします。

（編集担当者）

井上 穂・石倉 初・田中美知夫

（松江市市民生活相談課内）